

# 環境会計

環境保全活動に対する投資、費用とその効果を把握して、環境保全活動の効率化に努めています。コスト集計及び効果の把握方法は環境省「環境会計ガイドライン2005版」を参考にして作成しました。

## 環境保全コスト

(単位:千円)

分類	主な取り組みの内容	2018年度		2019年度						
		投資額	費用額	投資額	費用額					
(1)事業エリア内コスト	—	267,038	367,321	320,669	492,671					
内 訳	(1)-1公害防止コスト	ばい煙・地下タンク・浄化槽検査費 グリーストラップ等設備導入費 グリーストラップ清掃費、浄化槽維持費など	211,034	83,946	60,509	88,444				
	(1)-2地球環境保全コスト						56,004	51,784	260,160	127,953
	(1)-3資源循環コスト						—	231,591	—	276,274
(2)上・下流コスト	容器包装リサイクル法再商品化委託料、レジ袋不使用2円引き費用	—	94,089	—	103,708					
(3)管理活動コスト	ISO審査費用、環境教育、EMS各種勉強会、展示会、新店の緑地など	7,042	31,731	8,000	35,331					
(4)研究開発コスト	—	—	—	—	—					
(5)社会活動コスト	各種組合費など	—	170	—	76					
(6)環境損傷対応コスト	PCB処理委託費用	—	—	—	385					
合計	—	274,080	493,311	328,669	632,171					

※対象企業：原信、ナルス

※減価償却費については2000年以降に実施した原信の設備投資について集計しており、ナルスでは集計していません。

## 環境保全効果

環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標(単位)	2018年度	2019年度
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	電力使用量(MWh)	193,147	192,562
	ガス使用量(千m <sup>3</sup> )	472	418
	重油使用量(kℓ)	41	27
	灯油使用量(kℓ)	78	32
	軽油使用量(kℓ)	3,194	3,246
	水使用量(千m <sup>3</sup> )	828	808
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する環境保全効果	CO <sub>2</sub> 排出量(t-CO <sub>2</sub> )	102,340	99,302
	廃棄物総排出量(t)	25,350	25,040
	廃棄物最終処分量(t)	6,845	6,515
	排水量(千m <sup>3</sup> )	828	808
事業活動から産出する財・サービスに関する環境保全効果	レジ袋回収量(t)	16	16
	紙パック回収量(t)	322	326
	発泡トレイ回収量(t)	229	238
	透明容器回収量(t)	392	447
	ペットボトルキャップ回収量(t)	79	84
	ペットボトル回収量(t)	247	266

※対象企業：原信、ナルス、フレッセイ

## 環境保全対策に伴う経済効果

(単位:千円)

効果の内容		2018年度	2019年度
収益	リサイクル品売却益	43,329	60,320
	店頭回収品売却益	7,466	8,203
費用節減	店頭回収による容リ法再商品化委託料の節減	19,699	21,216
	ショッピングバッグ持参によるレジ袋費の節減	62,846	67,370
合計	—	133,340	157,109

※対象企業：原信、ナルス、フレッセイ